

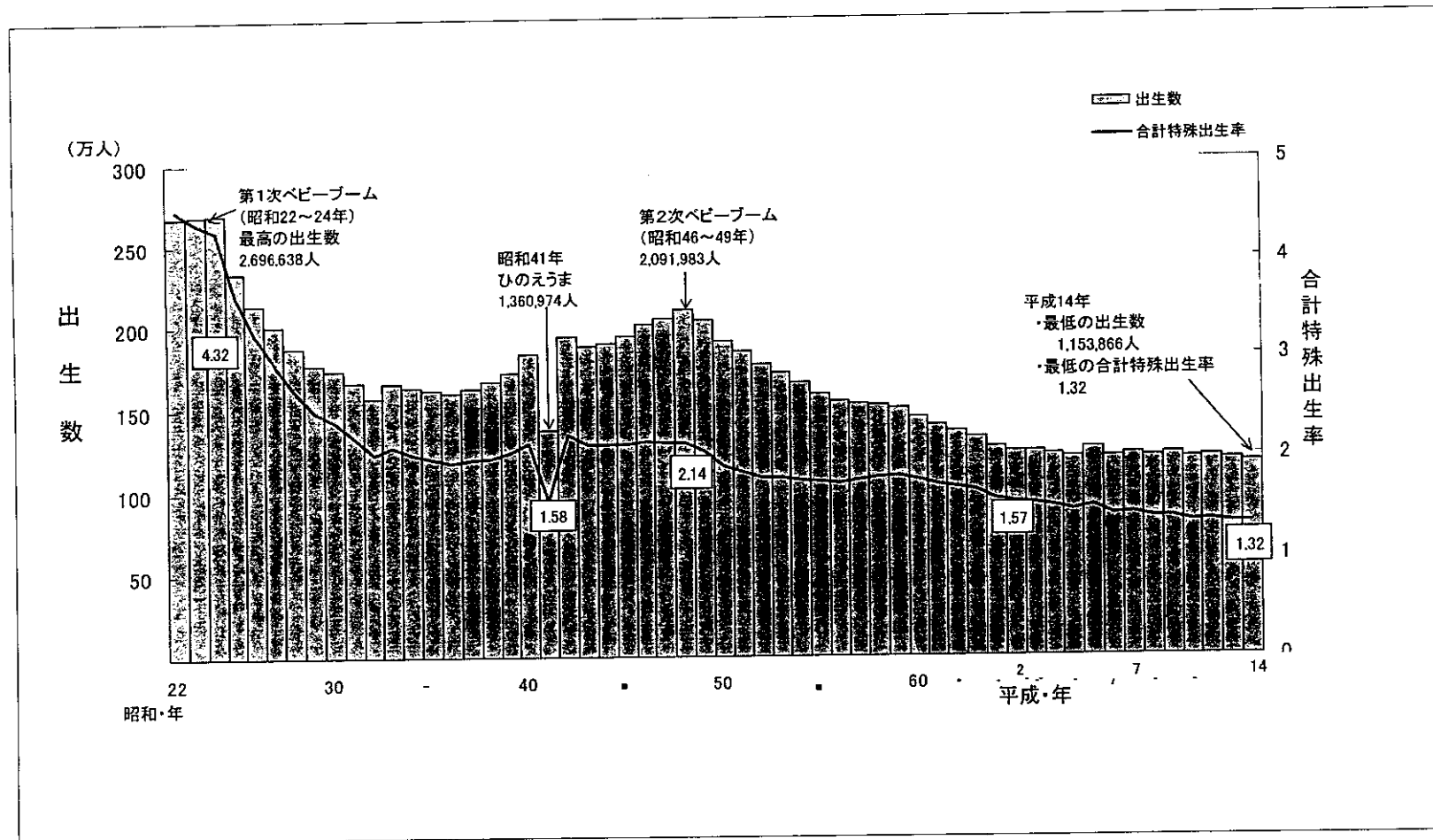
# 次世代育成支援を取り巻く状況

<b>1 少子化の動向</b>	
・ 出生数及び合計特殊出生率の推移	2
・ 都道府県別合計特殊出生率の状況	3
・ 少子化の要因と人口減少社会の到来	4
<b>2 子どもを取り巻く状況</b>	
・ 兄弟姉妹構成の推移	6
・ 放課後や休みの日によく遊ぶ場所	7
・ 外遊び集団の規模	8
・ 近隣の子どもの遊び場所で困ること	9
・ 乳幼児の世話をしたことがあるかどうか	10
・ 子どもたちの心の健康	11
・ 児童相談所における児童虐待相談処理件数の推移	12
<b>3 子育て家庭の状況</b>	
・ 女性の労働力率	14
・ 既婚女性（55歳以上）の労働力人口	15
・ 子育ての不安や悩み	16
・ 育児中の不安について	17
・ 子育てにおける負担感	18
・ 母親の意識の比較	19
・ 子育てに関する意識の比較	20
・ 世帯構造別児童のいる世帯	21
・ 育児休業取得率	22
・ 夫と妻の育児時間・家事関連時間	23
・ 平日の帰宅時間が23時以降翌朝3時未満の父親の割合（未就学児のいる父親）	24
・ 子育て支援事業の現状（実施市町村数）	25
<b>4 求められている子育て支援</b>	
・ 今後充実が必要な施策・サービス及び支援策	27
・ 保育サービス以外へのサービスの期待	28

# 1. 少子化の動向

# 出生数及び合計特殊出生率の推移

出生数及び合計特殊出生率は、近年、下げ止まらない。



○都道府県別合計特殊出生率の状況

順位	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1						沖縄 1.76
2	福島 1.57					佐賀 1.56
3						宮崎 1.56
5	山形 1.54					
6					島根 1.52	鹿児島 1.52
8			福井 1.51		鳥取 1.51	
10	岩手 1.50					熊本 1.50
12						長崎 1.48
13			長野 1.47		香川 1.46	
14						
15	青森 1.44			滋賀 1.44	岡山 1.44	
18						大分 1.42
19		群馬 1.41	富山 1.41			
			静岡 1.41		山口 1.41	
23		栃木 1.40		三重 1.40		
25			山梨 1.39			
26		茨城 1.38	新潟 1.38			
			岐阜 1.38		高知 1.38	
30	秋田 1.37					
			石川 1.37			
32				和歌山 1.35	徳島 1.36	
33					愛媛 1.35	
35			愛知 1.34		広島 1.34	
37	宮城 1.31					
38				兵庫 1.29		
						福岡 1.29
40		千葉 1.24				
41		埼玉 1.23				
42	北海道 1.22	神奈川 1.22				
				大阪 1.22		
45				奈良 1.21		
46				京都 1.17		
47		東京 1.02				

← 全国平均 1.32

資料：厚生労働省統計情報部「平成14年人口動態統計」

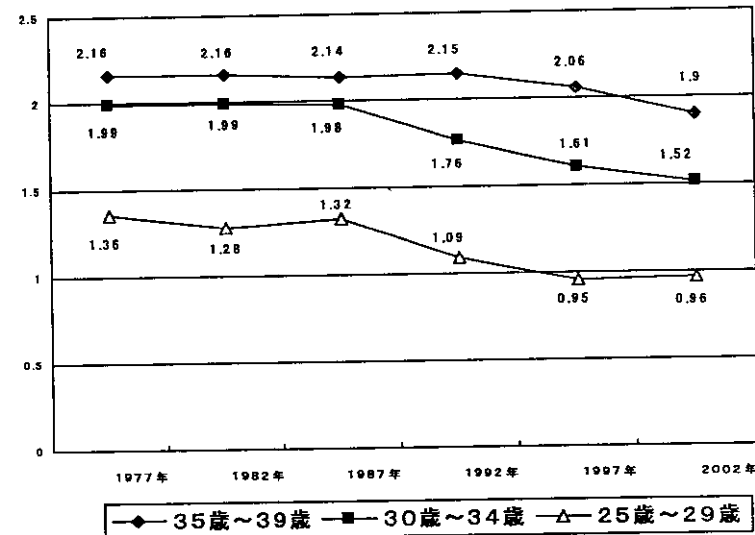
# 少子化の要因と人口減少社会の到来

## ○晩婚化・未婚化の進行

- ・ 25～29歳の未婚率
  - 男性 48.3% → 69.3%
  - 女性 20.9% → 54.0%
  - (昭和50年) (平成12年)
- ・ 50～54歳の未婚率
  - 男性 1.8% → 10.1%
  - 女性 3.8% → 5.3%
  - (昭和50年) (平成12年)
- ・ 平均初婚年齢の上昇
  - 男性 27.0歳 → 28.8歳
  - 女性 24.7歳 → 27.0歳
  - (昭和50年) (平成12年)

## ○夫婦出生力の低下

- ・ 平成2年（1990年代）以降、平均出生子ども数減少



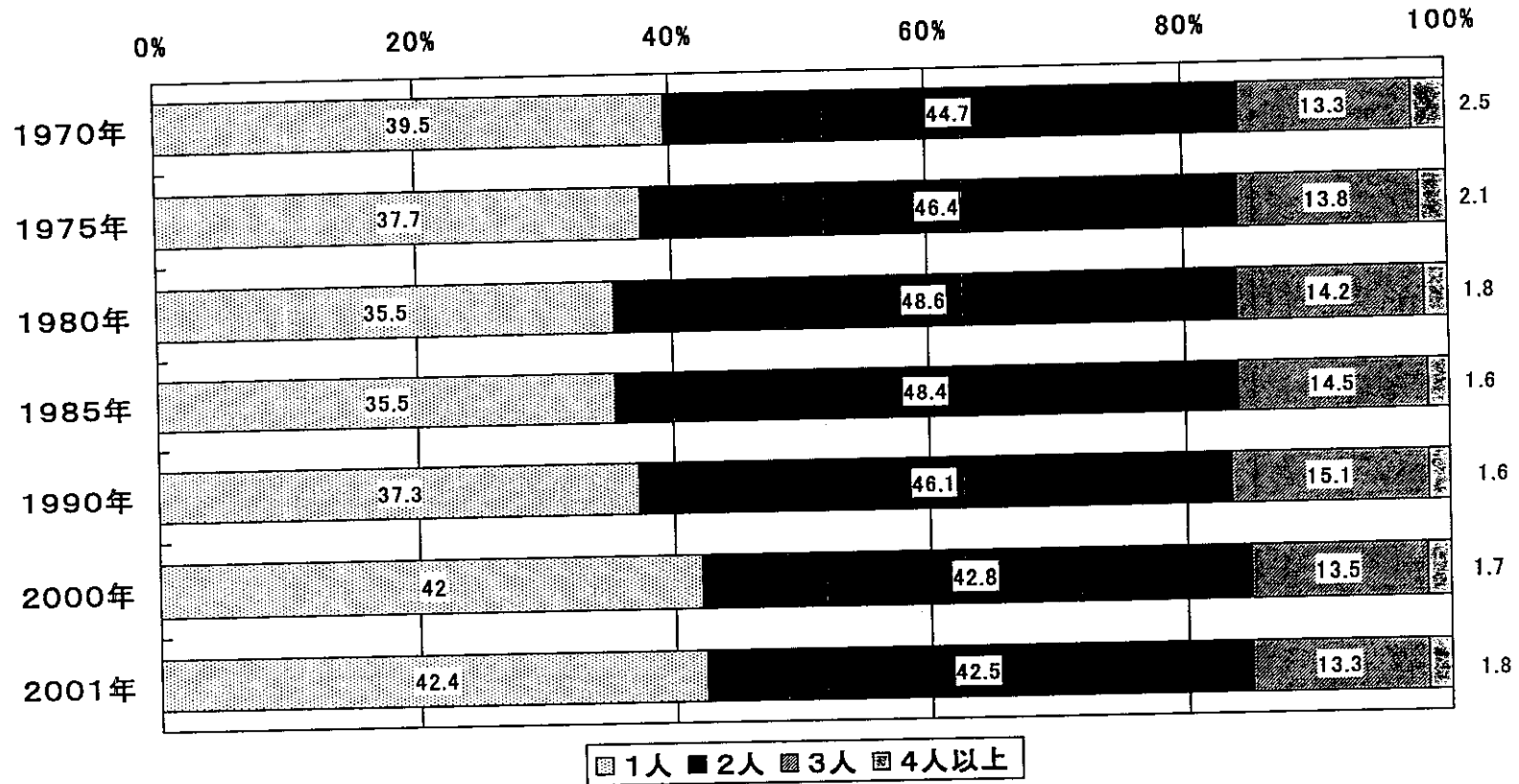
## 少子化が一層進行

- 平成18年（2006年）をピークに総人口が減少
- 21世紀末には人口が半減（1億2,693万人（2000年）→6,414万人（2100年））
- 2050年には出生児数が半減（120万人（2000年）→67万人（2050年））

## **2. 子どもを取り巻く状況**

# 兄弟姉妹構成の推移

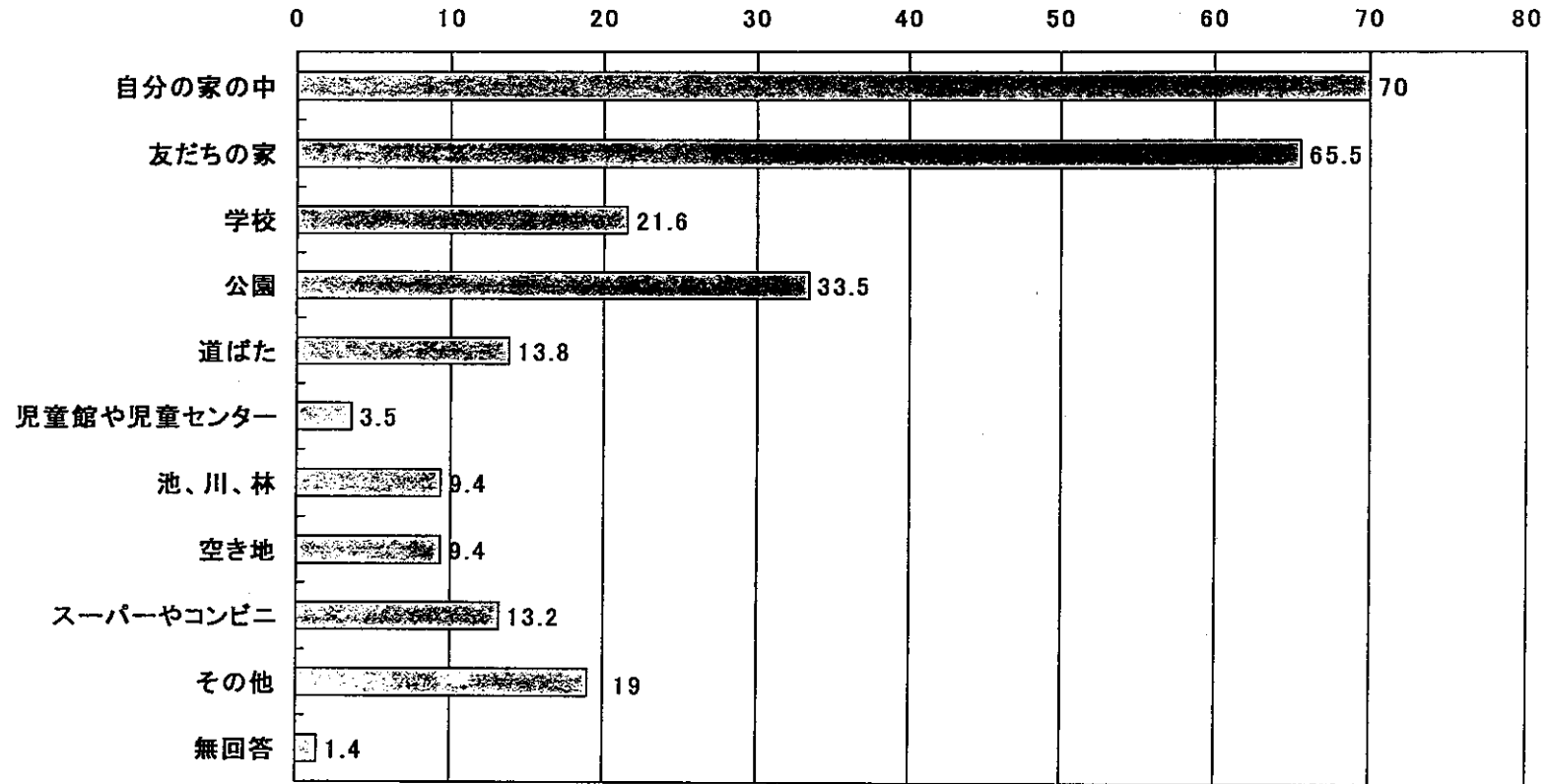
きょうだいの数は、近年、減少傾向にある。



(出典) 国民生活基礎調査

# 放課後や休みの日によく遊ぶ場所

「自分の家の中」や「友だちの家」が多く、室内で遊ぶことが多い。



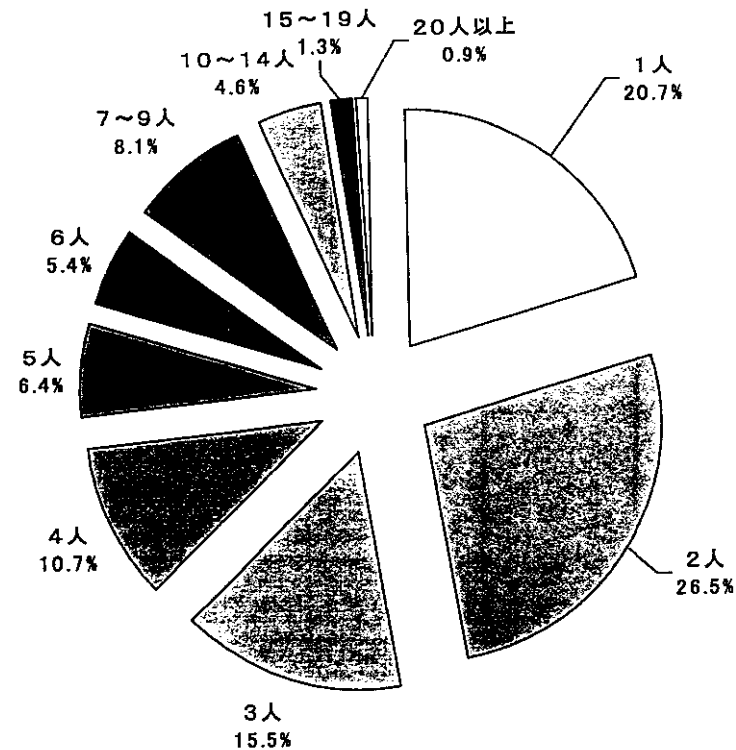
(出典) 「子どもの遊び実態調査(福岡県)」(平成14年3月)

小・中学生を対象にした調査。



# 外遊び集団の規模

外遊び集団の規模は、約半数が「1人」又は「2人」となっている。

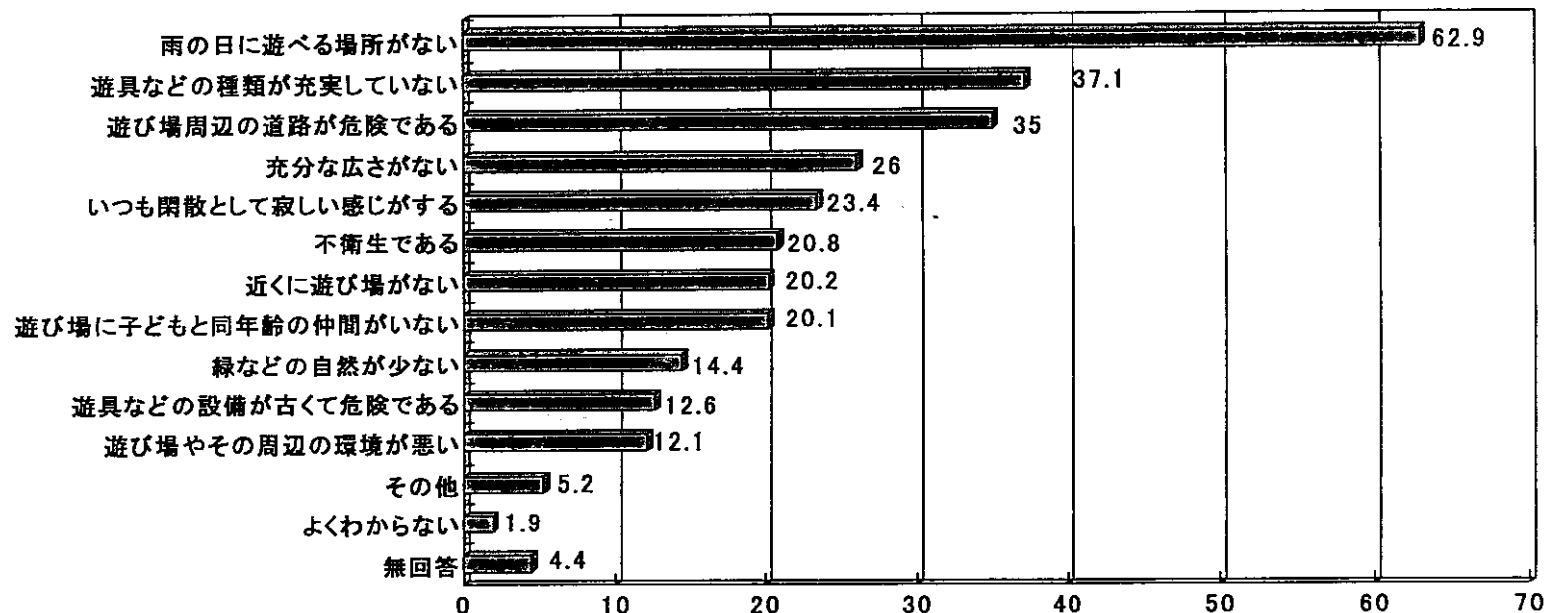


(出典) 「子どもの遊び実態調査」(福岡県)(平成14年3月)

※ 福岡県下50地域の小・中学校の校庭及び周辺の公園計150か所で遊んでいる子どもを「時間帯別」、「年代別」、にカウント・記録したものをもとに集計。

# 近隣の子どもの遊び場で困ること

○「雨の日に遊べる場所がない」が最も多いほか、「遊び場周辺の道路が危険である」、「十分な広さがない」、「近くに遊び場がない」、「遊び場に子どもと同年齢の仲間がない」などとなっている。

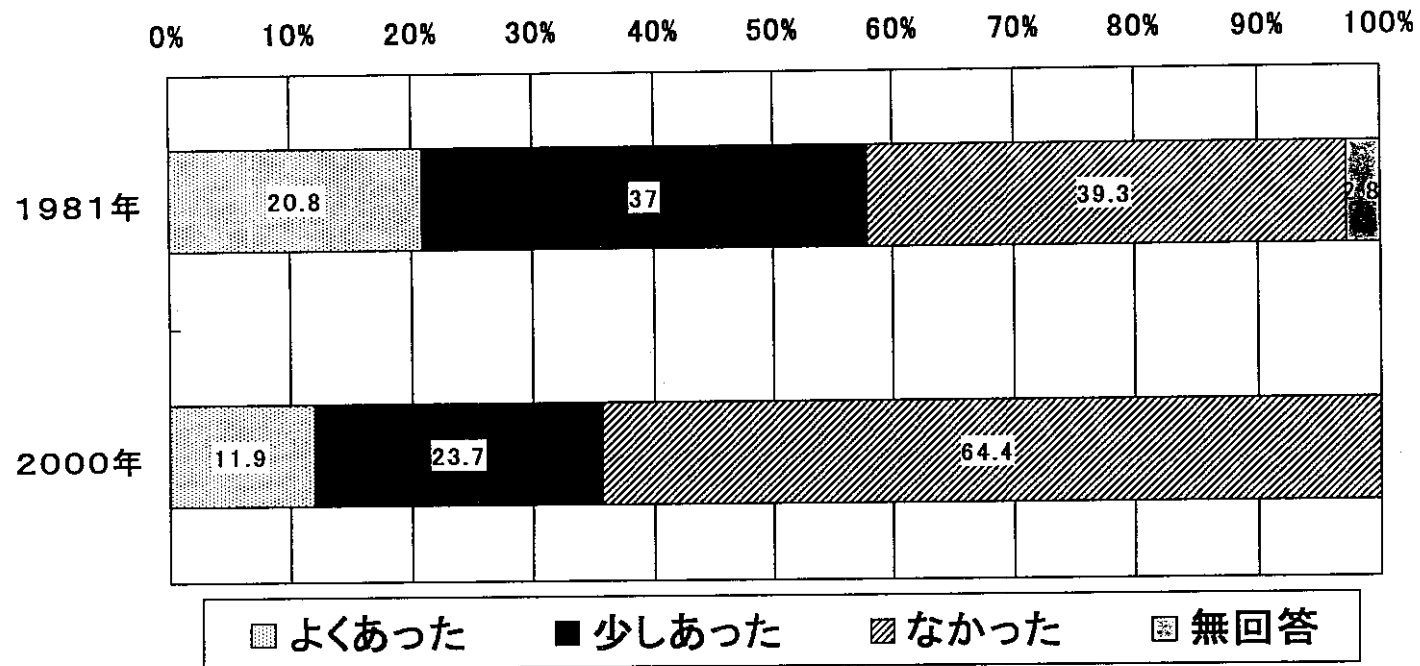


(注) 平成15年3月UFJ総合研究所

「子育て支援策等に関する調査研究報告書」(厚生労働省雇用均等・児童家庭局委託調査)(母親を対象とした調査)

# 乳幼児の世話を体験したことがあるかどうか

1歳6か月健診を受けた母親を対象とした調査によれば、乳幼児の世話を体験したことがなかったと回答した者が大幅に増加している。

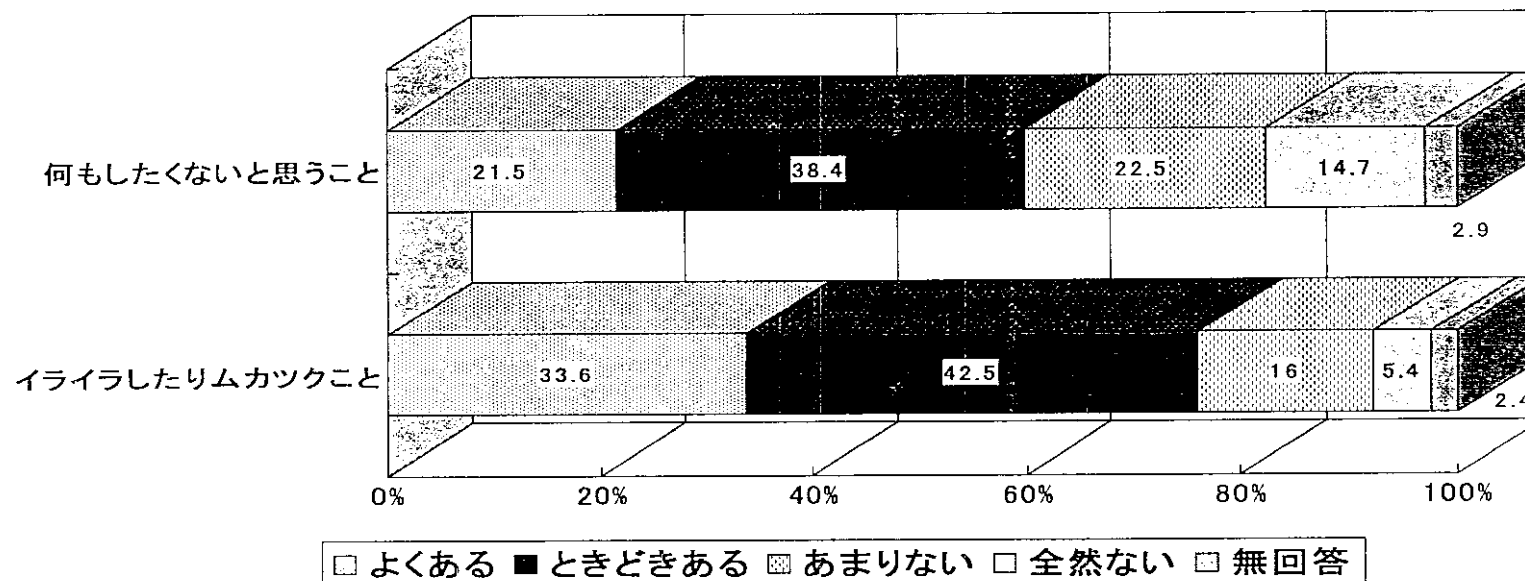


(出典) 児童環境づくり等総合調査研究事業 (平成13年3月)

# 子どもたちの心の健康

約6割弱の子どもが「何もしたくない」と思うことがある。

また、4人に3人以上の子どもが「イライラしたりムカつくことがある」と答えている。

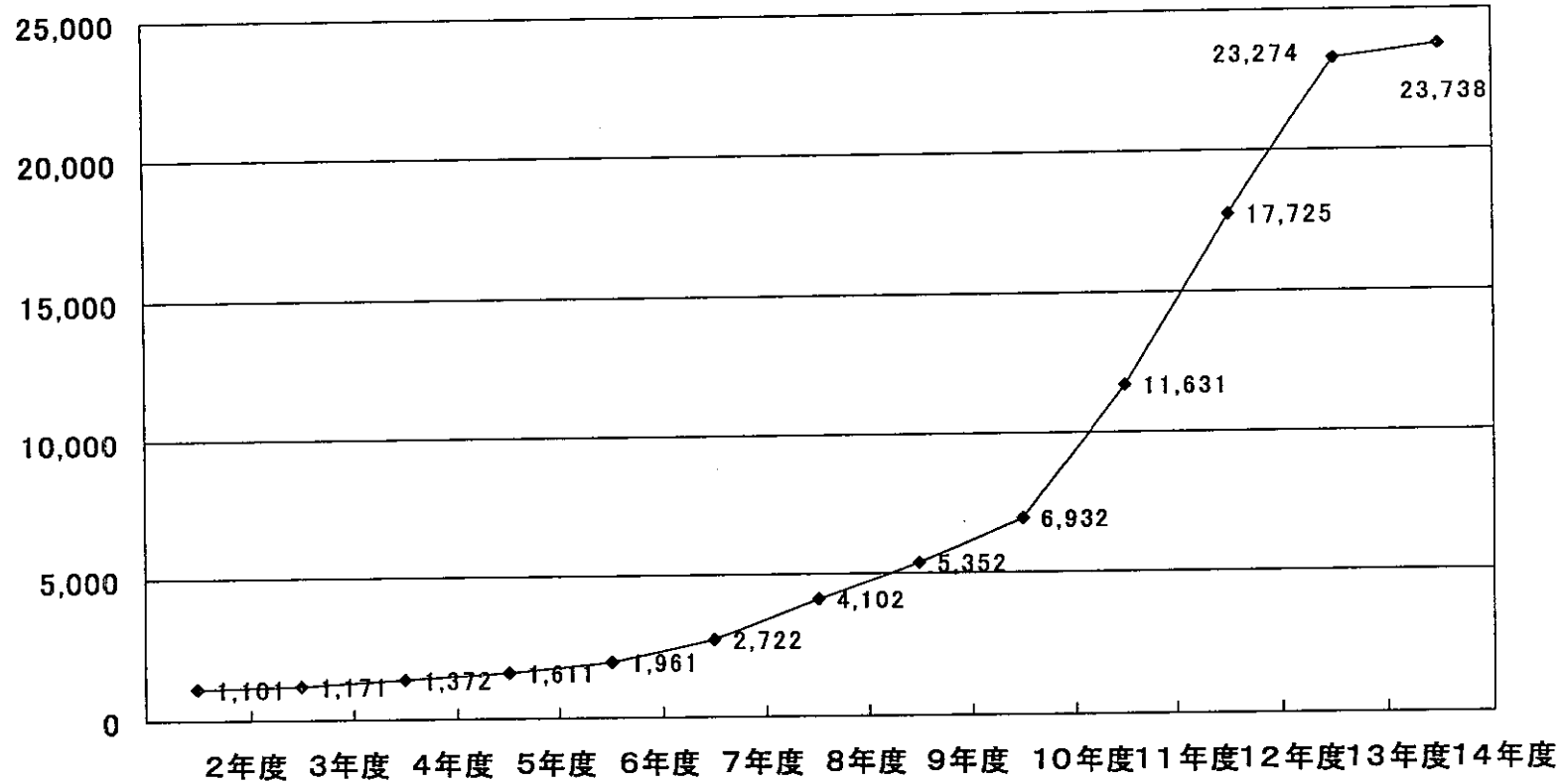


(出典) 「子どもの遊び実態調査」(福岡県)(平成14年3月)

小・中学生を対象にした調査結果。

# 児童相談所における児童虐待相談処理件数の推移

児童虐待相談処理件数は、ここ数年大幅に増加している。



※ 厚生労働省雇用均等・児童家庭局調べ